資料３　別添

第10期高齢者基礎調査　調査項目　たたき台

①高齢者一般調査 ③これから高齢期を迎える方の調査

大項目	内　容
基本属性	・性別、年齢（Q1）、居住地域（Q2）、世帯構成（Q3） ・子の有無、子の心配ごと、相談先（Q5、5-1、5-2）、日中の過ごし方（Q6） ・世帯年収（Q8）、世帯の預貯金（Q9）、暮らし向き（Q10）
住まい	・現在の生活場所（Q11）、入居を断られた経験、理由、将来の住まいに対する不安（Q12） ・介護が必要になった場合に希望する暮らし方（Q13）
外出状況	・外出頻度（Q15）、外出をためらう問題点（Q18） ・外出の積極性（Q14） ・区立施設の利用状況（Q16） ・外出手段（Q17）
仕事や地域での活動	・地域活動の参加頻度（Q20） ・孤独・孤立を感じる頻度（Q21） ・就労状況・働き続けたい年齢・働く理由・希望する就労の頻度、希望する就労時間、希望する職種（Q19、19-1～19-2-1） ・地域活動に参加するきっかけ、活動してみたい地域活動の分野（Q20-1、Q20-1-1）
健康	・健康状況（Q22）、幸福度（Q23）
介護予防・フレイル予防	・フレイルの認知度（Q24） ・介護予防・フレイル予防の取組状況（Q25）、主観的な効果（Q25-1）、取り組んでいない理由（Q25-2）
介護保険	・介護サービスと保険料についての考え（Q26）、介護保険料や健康保険料の負担感（Q27）
医療	・かかりつけ医・歯科医・薬局の有無（Q28）、医療機関の受診状況（Q29、29-1） ・在宅療養の希望と実現可能性（Q30）、その理由（Q30-1） ・リハビリ療養目的の入院の有無、入院した医療機関の場所・選択理由（Q31、31-1、31-2） ・ACPの状況、相手、話し合っていない理由（Q32、32-1、32-2） ・人生の最期を迎えたい場所（Q33）、終末期・死後の手続で不安なこと（Q34） ・入院または施設への入所の際に身元保証してくれる人・管理の範囲、死後の手続きをしてくれる人 ・終活への興味、手助けが必要なこと、希望する相談相手、区に求める支援（Q35～38）
たすけあい	・成年後見制度の認知度（Q41）、成年後見制度の利用意向（Q42）
保健福祉施策（日常生活の状況）	・日常生活の困りごと(Q43) ・老後を楽しく生きるために必要なこと（Q45）、高齢者だと思う年齢（Q46）、将来の不安（Q47） ・地域包括支援センターの認知度、満足度、期待する役割（Q48、49） ・保健福祉や介護保険の情報の入手方法（Q50） ・高齢者虐待の相談先、必要な虐待防止施策（Q51、52） ・認知症への関心、関心がある理由、認知症のイメージ ・認知症の相談先、必要な認知症施策（Q53、54）、認知症に関して不安なこと、認知症施策の認知度・利用意向 ・ICT機器の利用状況（Q56） ・ICT機器を持たない理由 ・新型コロナウイルスの暮らしへの影響（Q59） ・今後力を入れてほしい高齢者福祉施策（Q60）、区への意見・要望（Q61）
介護家族の状況	

②要支援・要介護認定者調査

大項目	内　容
基本属性	・介護の有無（Q4）→②要支援・要介護認定者調査から削除 ・緊急連絡先（Q7）
住まい	
外出状況	
仕事や地域での活動	－
健康	
介護予防・フレイル予防	－
介護保険	－
医療	－
たすけあい	・必要な手助け、自分ができる手助け（Q39、40）
保健福祉施策（日常生活の状況）	－
介護家族の状況	－

②要支援・要介護認定者調査

大項目	内　容
基本属性	・被介護者の介護保険サービスの利用状況（Q4-1）
住まい	
外出状況	
仕事や地域での活動	
健康	
介護予防・フレイル予防	
介護保険	・要介護度、申請理由・原因（Q33～35） ・知っているサービス、利用しているサービスとその満足度（Q36） ・支給限度額に係る利用状況（Q37、37-1） ・サービス未利用の理由（Q38） ・ケアマネに対する満足度（Q39、40） ・サービス利用による変化（Q41） ・要介護度改善に対する考え（Q42） ・介護サービス利用料の負担感（Q45）
医療	・在宅療養生活継続に必要なこと（Q24）
たすけあい	－
保健福祉施策（日常生活の状況）	
介護家族の状況	・主な介護者の基本属性（Q60、60-1） ・介護期間（Q61） ・介護者の就労・就学状況、就労意向（Q62、62-1） ・ダブルケア（Q63） ・サービス利用時の所感（Q64） ・在宅介護の困りごと・負担（Q65） ・介護に関する相談先（Q66） ・介護者自身が受けたい支援（Q67）

④特別養護老人ホーム 入所申込者調査

大項目	内　容
基本属性	・性別、年齢（Q1）、居住地域（Q2）、世帯構成（Q3） ・子の有無（Q4） ・暮らし向き（Q5）、世帯年収（Q6）、世帯の預貯金（Q7） ・現在の生活場所（Q8）
本人の心身の状況	・要介護度（Q9） ・医療処置の状況（Q10） ・認知症の状況（Q11）
特別養護老人ホーム入所申込状況	・最初の申込からの経過期間（Q12） ・入所したい特養のタイプとその理由（Q13、14） ・申込の意思決定者（Q15） ・申込した特養の情報の入手経路（Q16） ・申込した特養の選択理由（Q17） ・特養を申し込んだ理由（Q18） ・特養に期待すること（Q19） ・区外特養の申込状況、申し込まない理由（Q20、20-1～2） ・現在の入所意向（Q21） ・入所辞退の経験、理由、回数（Q22、22-1、22-2） ・入所意向の程度 ・入所希望の時期（Q23） ・特養以外の施設の入所意向、入所したい理由（Q24、24-1） ・入所したい施設の優先順位（Q24-2） ・特養以外の施設に申込をしない理由（Q24-3） ・在宅生活の希望、在宅生活に必要なサービス（Q25、25-1）
介護	・知っているサービス、利用しているサービスとその満足度（Q26） ・支給限度額に係る利用状況（Q27、27-1） ・介護サービスと保険料についての考え（Q28） ・介護保険料や健康保険料の負担感（Q29） ・介護サービス利用料の負担感（Q30） ・ACPの状況、相手、話し合っていない理由（Q31、31-1、31-2） ・人生の最期を迎えたい場所（Q32） ・終末期・死後の手続で不安なこと（Q33） ・ショートステイの利用状況、利用目的（Q34、34-1） ・ショートステイの希望する時期の利用状況（Q34-2） ・ショートステイの希望施設の利用状況（Q34-3） ・ショートステイの希望施設の利用日数・連続利用日数、希望日数 ・ショートステイを利用していない理由
区の施策・情報	・保健福祉や介護保険の情報の入手方法（Q35） ・区への意見・要望（Q36）
介護家族	・主な介護者の基本属性（Q37、37-1） ・介護期間（Q38） ・介護者の就労・就学状況、就労意向（Q39、39-1） ・ダブルケア（Q40） ・サービス利用時の所感（Q41） ・在宅介護の困りごと・負担（Q42） ・介護に関する相談先（Q43） ・介護者の視点から特養を申し込んだ理由（Q44） ・介護者の視点から特養に期待すること（Q45） ・介護者自身が受けたい支援（Q46）

⑤介護サービス事業所調査

大項目	内　容
事業所の概要	・提供サービス（Q1）、運営主体（Q2）、従業員数、事業所の所在圏域（Q3） ・派遣労働者の受け入れ状況、人数、課題（Q4、4-1） ・介護サービスの従事者数（Q5）、職種別従事者数（Q6）
[居宅のみ]居宅介護事業所の考え	・今後整備が必要な地域密着型サービス（Q7） ・（看護）小規模多機能型居宅介護の需給状況、対応状況（Q8、9、10） ・定期巡回・随時対応型訪問介護看護の需給状況、課題（Q11、12） ・認知症グループホームの需給状況（Q13） ・訪問看護ステーションの需給状況（Q14） ・通所介護の需給状況（Q15） ・ショートステイの需給状況、受け入れ状況（Q16） ・都市型軽費老人ホームの需給状況、受け入れ状況（Q17） ・介護医療院の紹介状況、理由 ・ケアマネジャーの質についての感じ方（Q18） ・自立・軽度化への課題（Q19） ・ケアマネジャーの質の向上を図るために必要なこと、課題（Q20、Q21） ・地域包括支援センターとの連携内容（Q22） ・医療機関との入退院支援・調整における課題（Q23） ・在宅看取りの経験（Q24） ・在宅看取りで連携できる複数医師の有無（Q25） ・在宅看取りの増加への対応（Q26）
利用者数	・要介護度別の利用者数（Q27） ・要介護度の１年間の変化の状況（Q28）
苦情対応	・サービス提供困難時の対応（Q29） ・苦情内容、対応方法（Q30、31）
サービスの質の向上	・第三者評価の受審状況（Q32） ・サービスの質の向上のための取組内容（Q33） ・事故防止の取組内容（Q34）
事業所の運営	・稼働状況（Q35） ・介護保険外サービスの提供状況（Q36、36-1） ・間接業務の処理状況 ・間接業務・送迎業務の共同処理の意向、課題 ・要医療、認知症、障害等を有する利用者への対応（Q37） ・ターミナルケアへの対応状況（Q38） ・医療的ケアへの対応状況（Q39） ・ACPの取組状況（Q40） ・医療機関との連携における取組内容、課題（Q41、42） ・BCPの策定状況（Q43） ・事業運営上の課題（Q44） ・利用者・家族等からのハラスメントの状況、ハラスメントへの対応状況、期待する支援（Q45～46）
総合事業	・2027年介護保険制度改正に向けた国の検討内容による効果・影響（Q47）
地域との関わり	・地域との関わりの状況（Q48、48-1、48-2） ・ボランティアの受入状況、ボランティアセンター・コーナーとの連携、課題（Q49、49-2、50） ・練馬区介護サービス事業者連絡協議会に期待すること（Q51）
人材確保・育成	・職種別の採用者数、離職者数（Q52） ・職種別の従業員の過不足状況（Q53） ・事業所全体の従業員の過不足状況（Q54、54-1、54-1-1） ・従業員の定着状況（Q55） ・人材確保の工夫（Q56） ・従業員の研修・教育等で困っていること（Q57） ・早期離職防止、定着促進の方策（Q58） ・処遇改善加算、生産性向上推進体制加算の取得状況、届出しない理由 ・ICT機器の活用状況（Q59） ・介護ロボットの活用状況（Q60） ・ICT機器や介護ロボットの導入・利用の課題（Q61） ・外国人介護人材の在留資格別雇用状況、国籍（Q62,62-1） ・外国人介護人材活用の意向、課題、区に求める支援（Q63、Q64） ・研修センターの研修の効果、活用していない理由（Q65、65-1） ・人材確保・育成・定着に向け、今後実施したい取組（Q66）
介護保険制度改正	・介護保険制度に対する要望・意見（Q67）

⑥介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

大項目	内　容
基本属性	・性別、年齢（Q1）、居住地域（Q2） ・世帯構成（Q3） ・主観的な介護の必要度（Q4）、 ・暮らし向き（Q5）
日常生活	・運動器の機能低下、転倒リスク（Q6～Q10） ・閉じこもり傾向（外出頻度）（Q11～12） ・低栄養の傾向（Q13、Q19） ・口腔機能の低下（咀嚼機能の低下）（Q14） ・口腔機能の低下（嚥下機能の低下）（Q15） ・口腔機能の低下（肺炎発症リスク）（Q16） ・口腔の健康状況（歯の本数）（Q17） ・口腔ケアの方法の認知度（Q18） ・孤食の状況（Q20） ・認知機能の低下（Q21） ・IADLの低下（Q22～26）
地域での活動	・地域づくりへの参加意向（Q27～28） ・地域活動への参加状況、就業状況（Q29）
たすけあい	・たすけあいの状況（Q30～33）
健康	・主観的健康観（Q34） ・主観的幸福感（Q35） ・うつ傾向（Q36～37） ・喫煙の習慣（Q38） ・現在治療中の病気等（Q39）
認知症	・認知症状の有無（Q40） ・認知症に関する相談窓口の認知度（Q41）

※　⑥介護予防・日常生活圏域ニーズ調査は、必須調査であり、国から調査項目が示されている。
国から示される調査票に準じて、適宜修正予定。

青字：削除項目
緑字：修正項目
赤字：追加項目